

条幅部漢字課題参考

(六月二十二日締切)

A 鈴木静村書

小徑荒苔人不到 開門間學換鷺書（黄庚）
小徑の荒苔人到らず。門を開じて間に学ぶ換鷺の書。



B 概觀

作例A、掛けて見入るごとにも細身。山馬筆三号をたまたま使ってみた。筆毛自体の勁さだけが独り歩きの感。特に到の立刀の末画は力が抜け、頼りない線。閉で墨継ぎしたが構えの崩しが硬い。行末門、末画のハネは楷書で不調和。みなさんはどうか一工夫を。



主な文字
について
記す。
Bつづけを入れ動きを。徑 B旁をにぎやかに。荒苔人 どこか連綿を入れては。不 A漢字作のふは孤立しやすい。到と連綿、一字とし
て。閉 A B門構えの三連続、みなさんそれぞれの打開に期待。學 頭デッカチで安定。換 旁の書き方各様、字典で。鷺 繁画ながら書きや
すい。書 Bこのような筆順も。
訳：荒れた苔の小道には来ない。門を閉じてのんびり王羲之の書を習おう。

予告（七月二十二日締切）

早起雀聲送喜頻

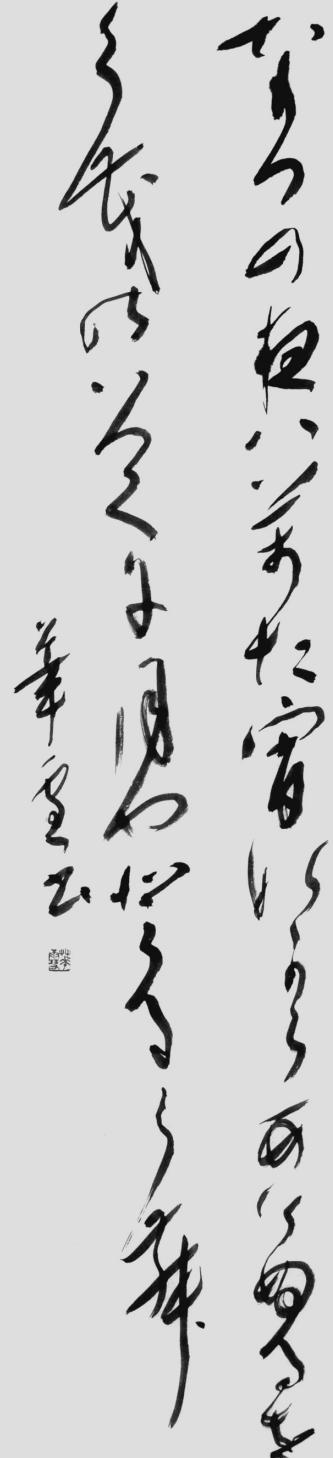
白魚芳酒寄來珍（徐夤）

- ◆注意
 - ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条漢を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条漢を○で囲み（　）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

条幅部かな課題参考

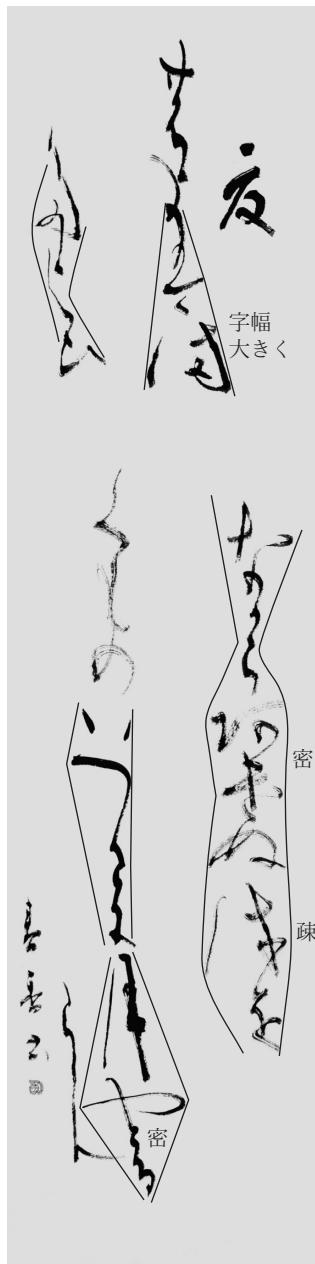
(六月二十二日締切)

A 平岡華雪先生書



B 石原春香先生書

夏農よ盤満多与ひな可ら阿遣ぬ流を久ものいつこ尓月やとるらん



学び方

「なつ」の「な」は幅を広くボリュームある書き出しぱです。二行目の行頭の「く茂」でとなりと響き合っています。「茂」と「能」の間の白も生きています。やや墨量が多く感ずる作品ですが「久茂能いつく尓」で渴筆にチャレンジして「月」で墨つぎしてみて下さい。「あ介ぬるを」はくるくると筆を回転しています。本阿弥の雰囲気が感じられます。「宵」と「月」が並ばない様に注意する事。「ら舞」は全体で表現し、楽しさを感じられます。"かな"のおもしろさ!!整齊な文字造形は安定した静的な美しさを、逆にアンバランスなものは動的で形自体に動きを感じさせます。最近の傾向は文字のデフォルメがやや多く、華雪先生の筆路明確なかなを大切にして行きたいものです。

予告

(七月二十二日締切)

山の香をかなしきかなと思ふにも遙けき國に吾はるなり (斎藤茂吉)

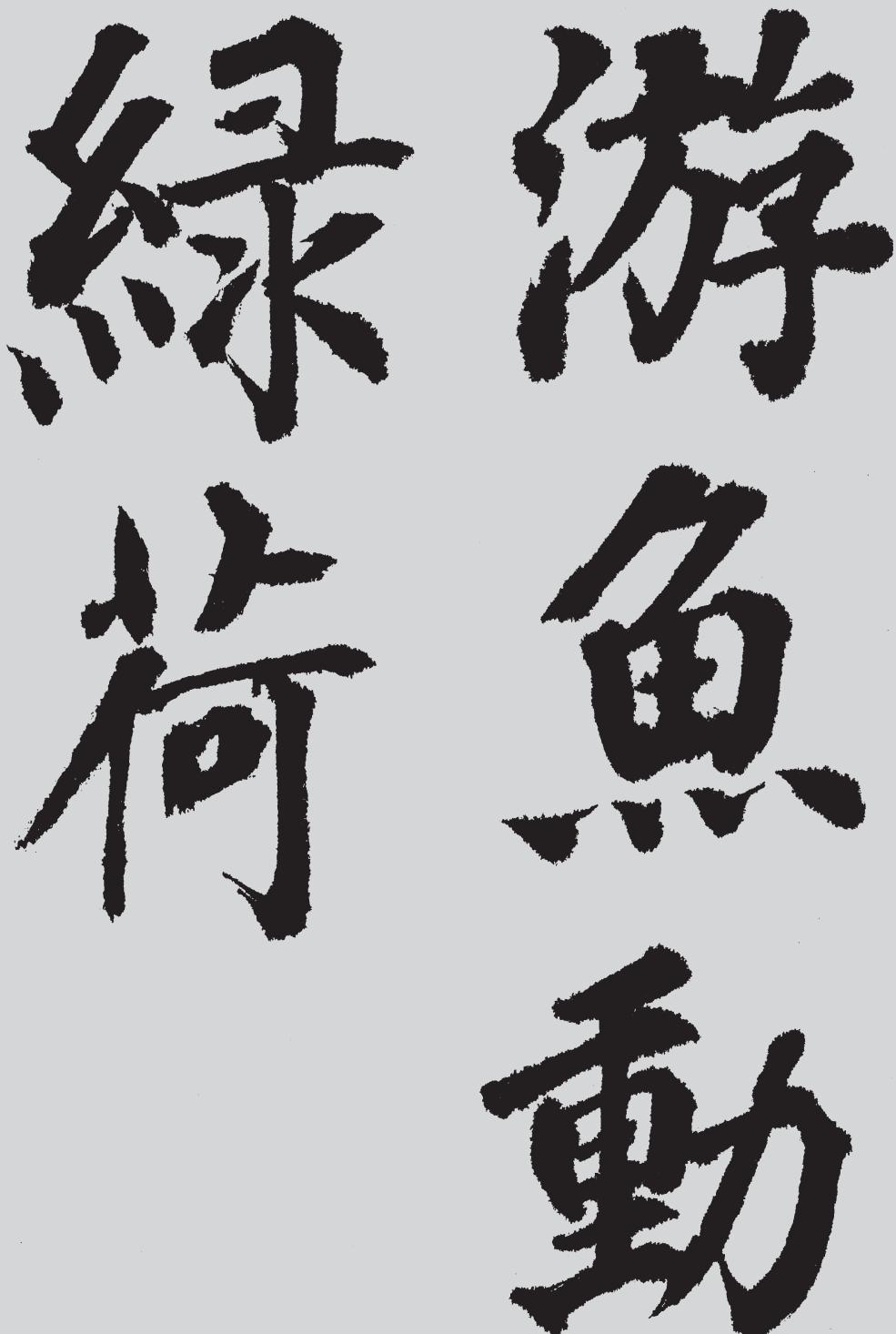
夏の夜はまだよひながらあけぬるを雲のいづこに月やどる覽 (古今和歌集 深養父)
なつの夜八萬た宵那可らあ介ぬるを久茂能いつ久尓月や登るら舞

◆注意

- 条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み (1) と記入する。)
- 二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み () に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

平岡華雪先生書

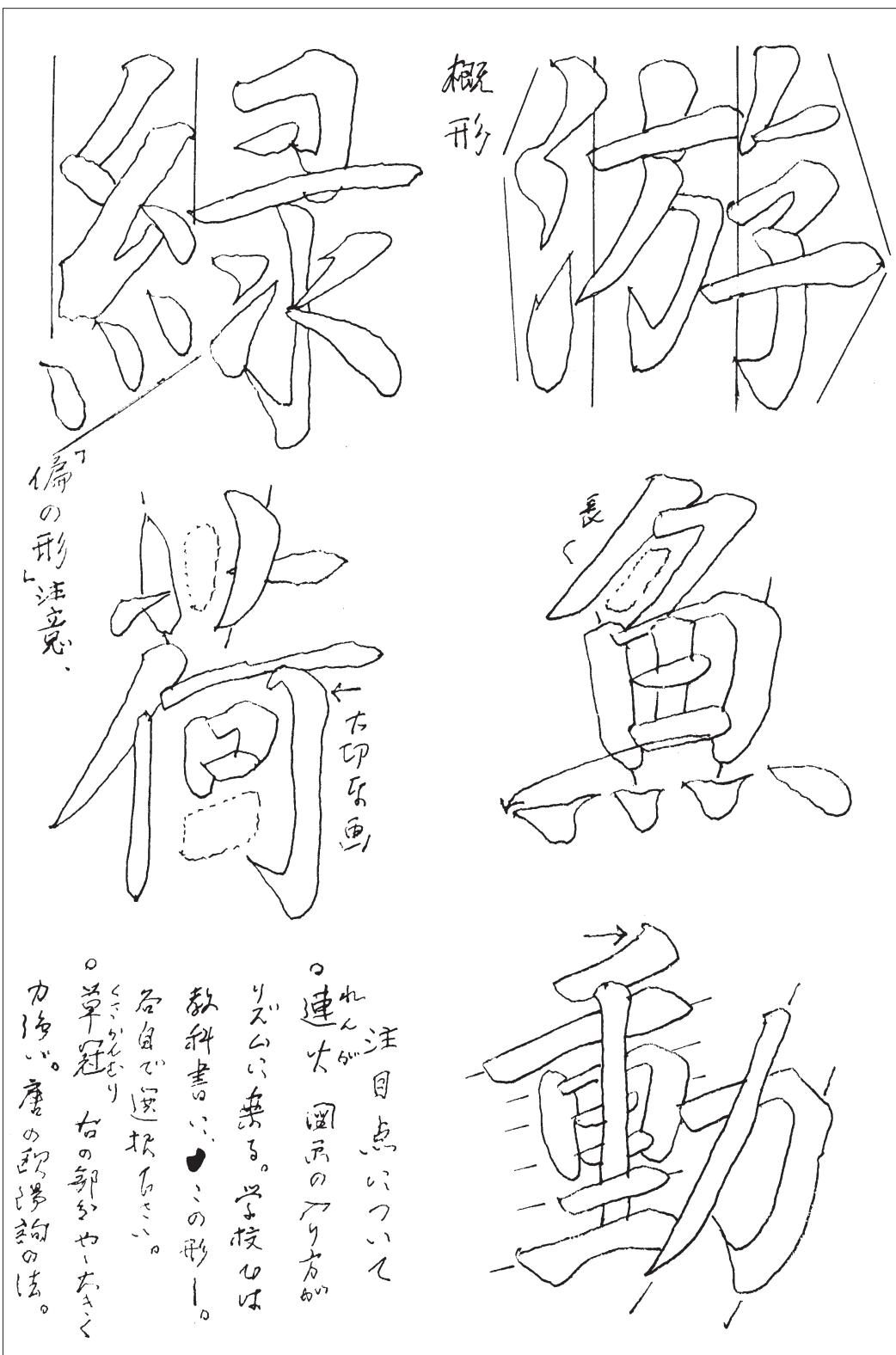
游魚綠荷を動かす(陸游)



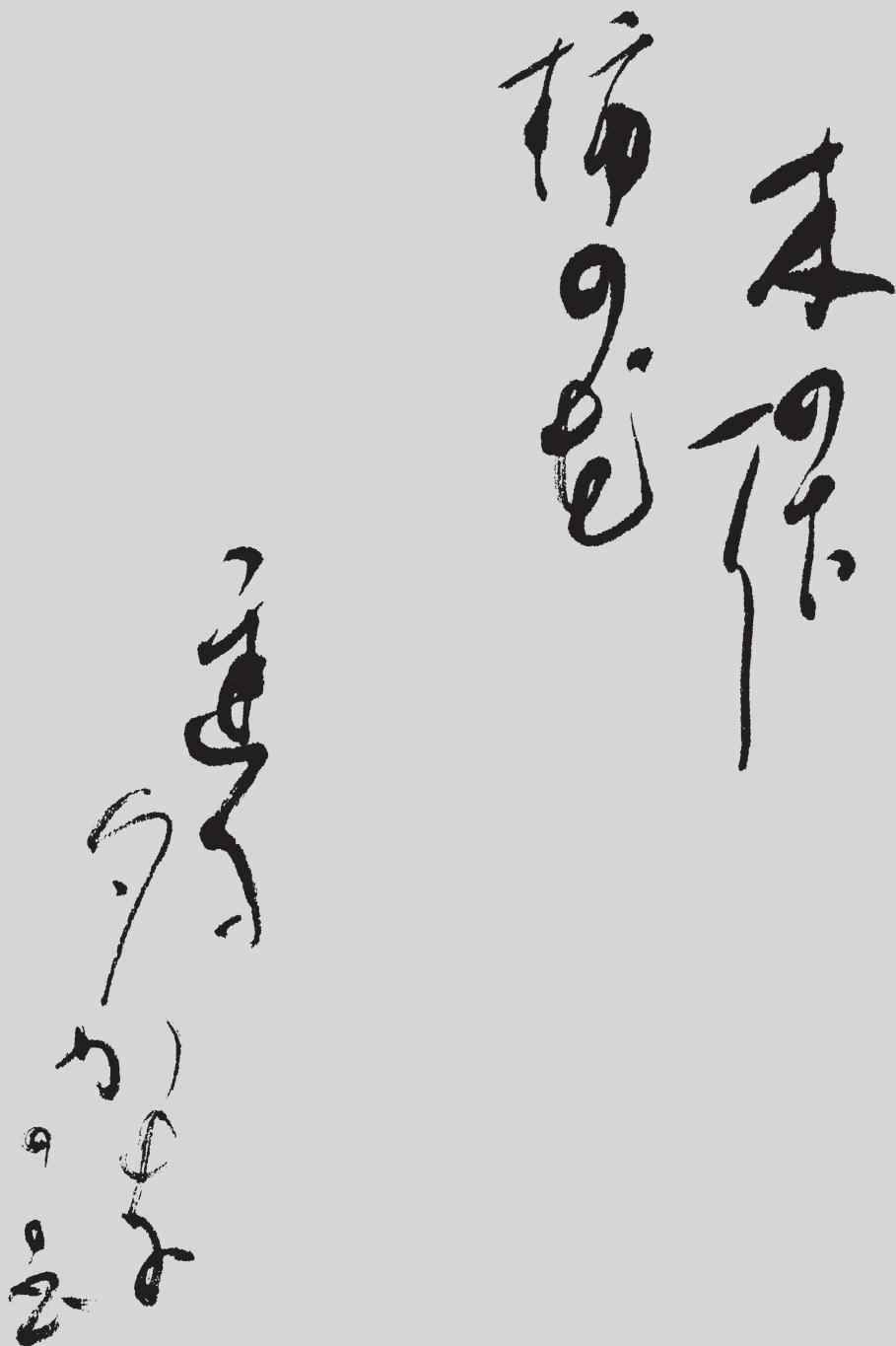
▼ 訳…池の魚が蓮の葉を動かしてたわむれている。

▼ 注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ①漢字部
②支部名または都道府県名
③氏名または雅号
④新会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。



平岡華雪先生書

木の下に柿の花散る夕かな
(蕪村)

▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ①かな部
- ②支部名または都道府県名
- ③氏名または雅号
- ④新会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。

各人の工夫の期待
全体として、まずは墨徳^{きとく}の
個所^{こゝ}が不明確。これは苇雪先生
かつ時折^{ときどき}言及^{げき}の「筆法」?
特に、この左辺の縦の妙^{めう}遊^{ゆう}は先生の特有。
そこで私は、先生の便りで同じ手本用紙に、ニシミを似^{いのち}せて試みる。
ほほ一筆書き^{いっし}と理解。墨徳^{きとく}の場合、各自がその個所^{こゝ}を工夫のこと。



条幅部隨意参考

野田麗夕先生書

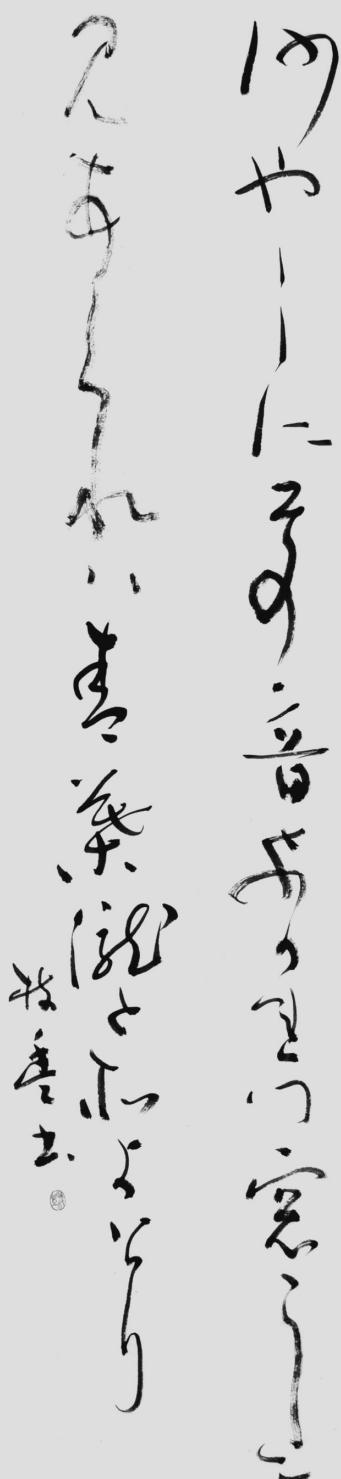
螢穿濕竹流星暗魚動輕荷墜露香（楊維禎）
螢は湿竹を穿ち流星暗く魚は輕荷を動して墜露香し。



訳：螢は雨中の竹をくぐって飛ぶのが流星の如きも光輝はよわい。魚は池上に浮いた蓮の葉を動かしてころげる露の玉は花の香りを送る。

鈴木枝豊先生書

さやさやにその音ながれつ窓ごしに見上ぐれば青葉滝とそよげり（若山牧水）
沙やゝにその音奈可連れ窓こし一見あ久れ八青葉滝と所よ介り

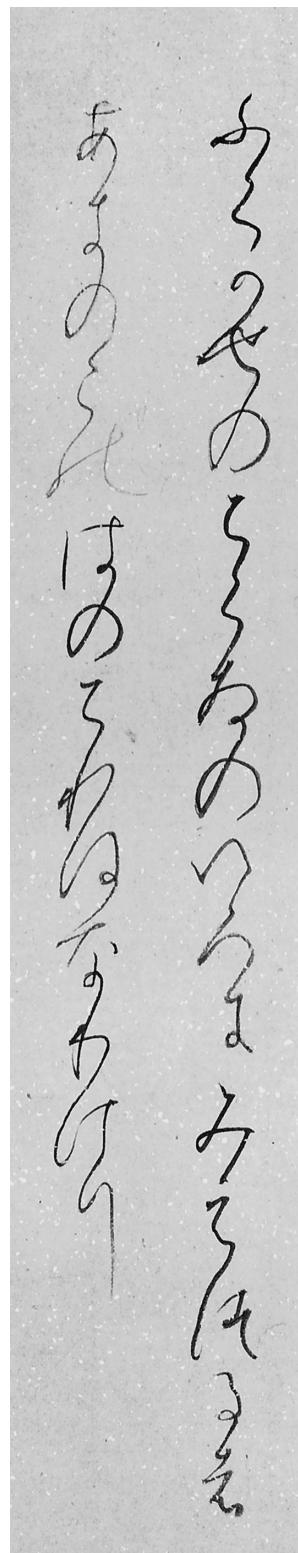


- ◆注意
 - ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（　）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

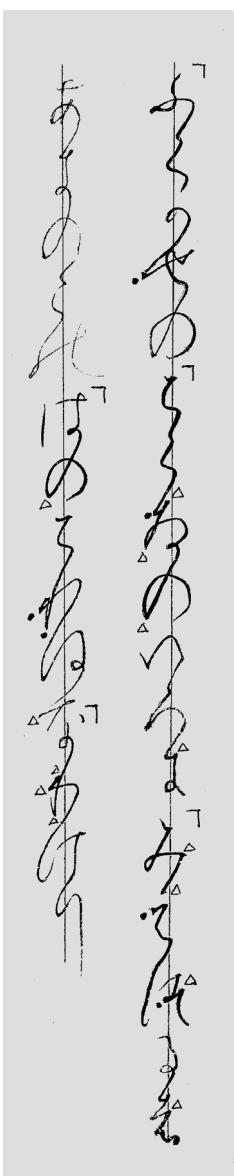
条幅臨書部課題

川上香蓉先生担当 高野切第二種 伝紀貫之筆（二玄社）

※条幅臨書部は出品料無料です。



吹く風のちぐさの色に見えつ
るは 秋のこのはのちればな
りけり



ふくかせのちくさのいろにみ
えつるはあきのこのはのち
れはなりけり

△古筆の分割と古筆切▽

古筆には巻子本あるいは冊子本のまま残っている

ものがあるが、茶の湯の隆盛とともに床に掛け
る軸に仕立てられるために、大名たちから豪商たち
へ、需要と供給との関係において古筆が切られてい
くようになる。分割された古筆を古筆切という。

「切」とは断簡の事で、高野切の名前の由来は『古
今和歌集』の古写本の断簡で、豊臣秀吉の愛蔵品だっ

△卷第九の巻首、安倍仲麻呂の歌「天の原ふりさけ

見れば春日なる：」を高野山文殊院の木喰上人が金
剛峰寺再建の際に拝領したもので、高野山に伝存さ

れていたことから「高野切」と呼ばれるようになっ
た。現存する高野切のうち高野山にあったものは一
部ですがその他の同類のものはすべて高野切と呼ば
れている。

・最後の「なりけり」は速度をつけて書く。

△ポイント▽

・二行とも中央部で第一種の特徴である左下への連
綿斜線が目立つ。上部では斜線が目立たず潤渴の
対比が際立っている。

・墨継ぎは五回と多く特に五回目の墨継ぎは「な」
の途中からと珍しい。

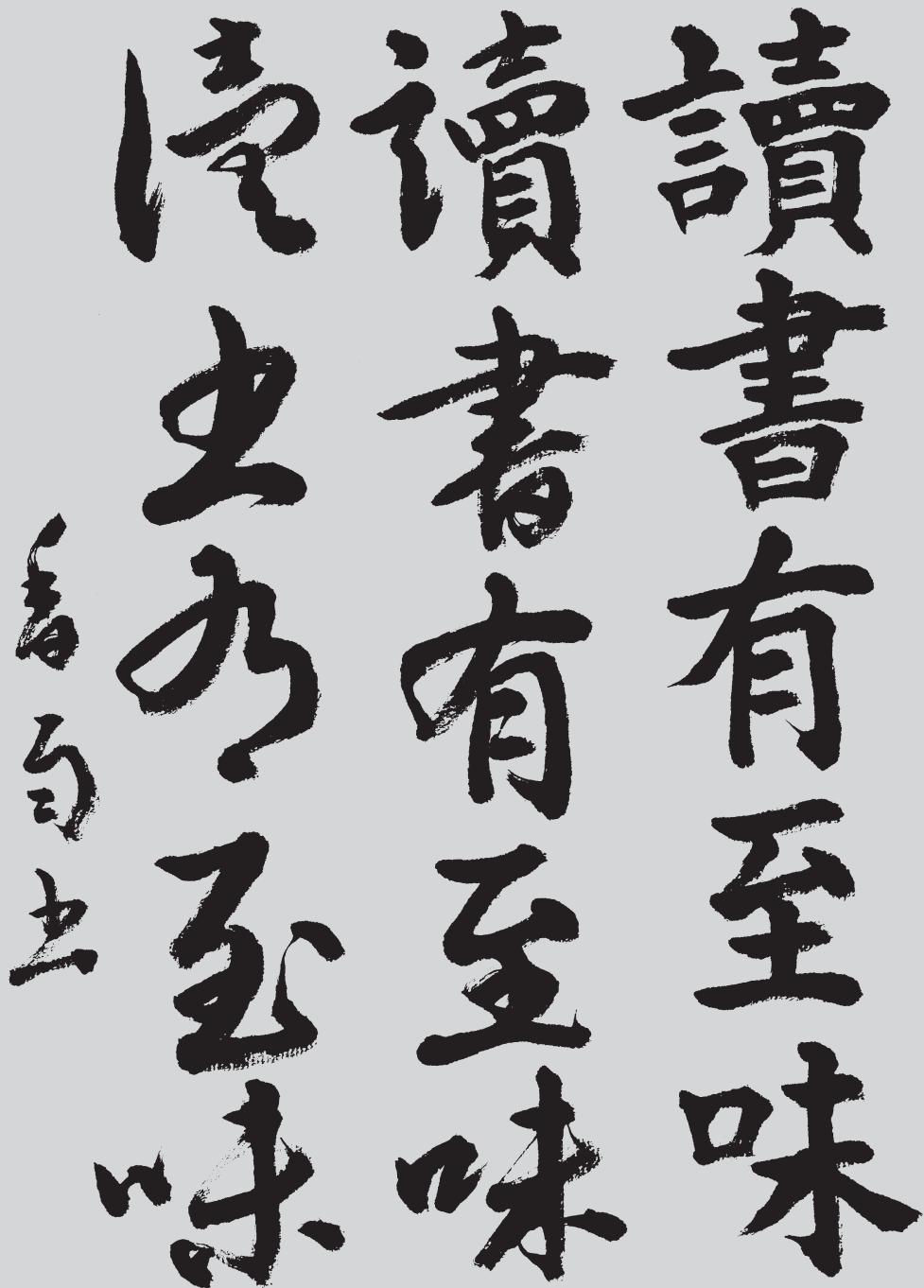
・「れば」は思い切り省略した形。

◆注意　・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

楷、行、草、三 体 參 考

酒井香雨先生書

讀書有至味
(錢肇修)
讀書至味有り。



訳: 読書は言うに言わぬ奥深き至味が存する。

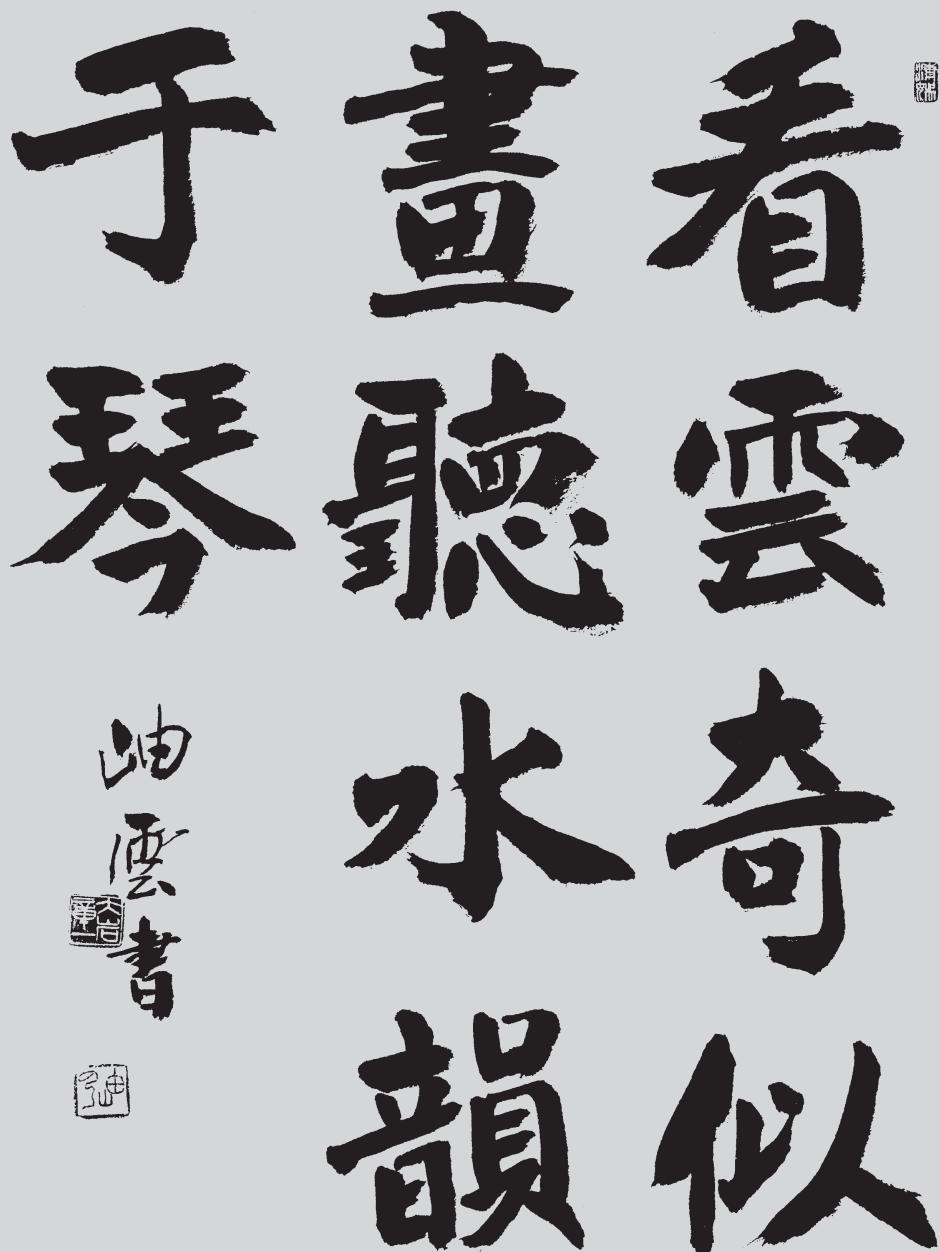
1. 隨意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は400円。

楷書参考

大岩岫雲先生書

看雲奇似畫 聽水韻于琴 (周湘)

くもみを
見る画より
奇に水を
聴く琴より
も韻あり。



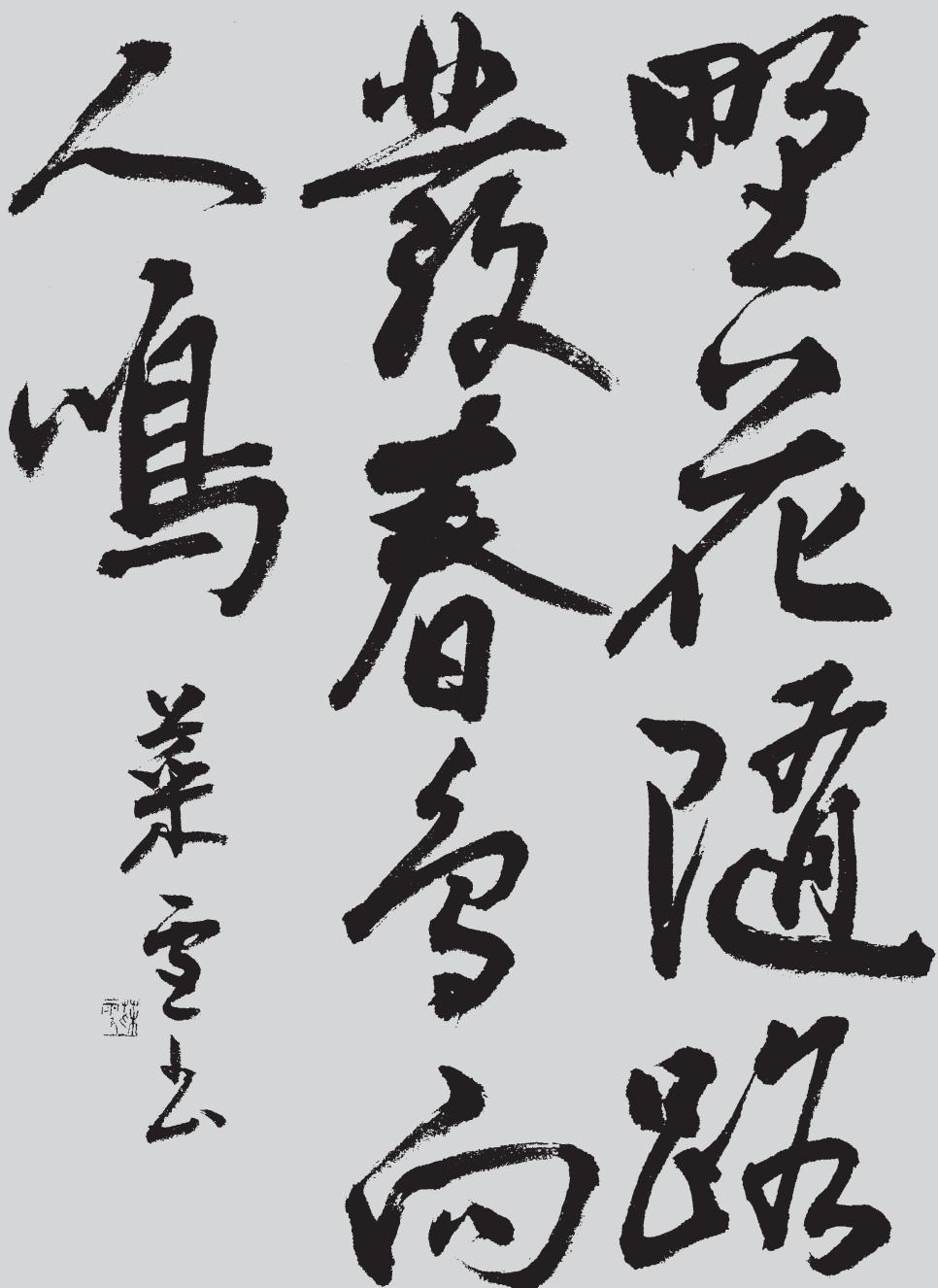
訳…ゆききする雲を見れば画よりも面白く、さらさらと流れる水は琴よりも面白く聞かれる。

◆随意部参考として出品してください。

隨 意 部 參 考

藤江菜雪先生書

野花隨路發 春鳥向人鳴
(劉維楨)
野花路に随うて発き、春鳥人に向つて鳴く。



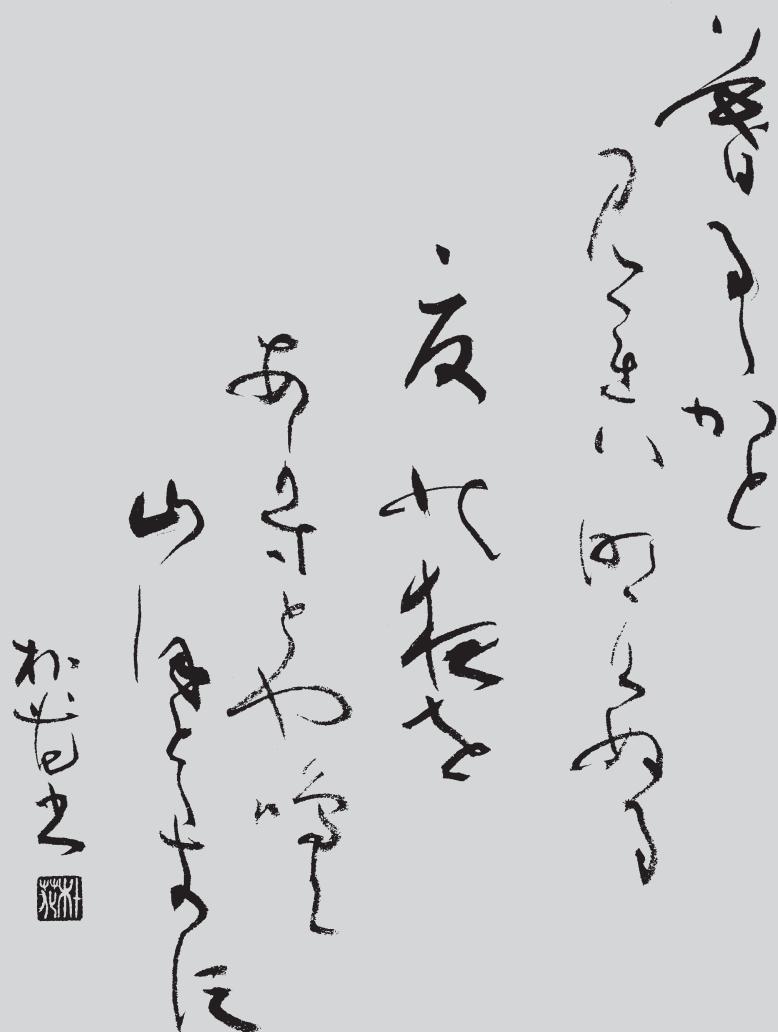
訳：野べの花は到る処の路のべに咲き、春の鳥はよき声して人に向つて鳴く。

添削又は手本希望者は本会規定により、藤江菜雪先生（〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町2071-24）に直接お申し込みください。

隨 意 部 參 考

向山朴花先生書

暮るゝかと見ればあけぬる夏の夜をあかずとやなく山郭公（古今和歌集 壬生忠岑）
暮るゝかと見連八明介ぬる夏能夜を可寸とや鳴久山保と、支須す



添削又は手本希望者は本会規定により、向山朴花先生（〒154-0022 世田谷区梅丘3-12-22）に直接お申し込みください。

硬筆部課題参考

(六月二十二日締切)

路川千暉先生書

路川千暉先生書

課題2 (初段格以下)

課題1 (初段以上)

だるま市で買った苗木の
ちいさいのが、冬を二度越して、
やっと葉が茂りかけている。

やがて六月も終わろうとする頃、梅雨の晴れ間の空の青がまぶしくなり、由比ヶ浜の彼方にせり出す雲は若者が肩を張ったような積乱雲にかかる。

「白秋」伊集院 静

課題1 (初段以上)

やがて六月も終わろうとする頃、梅雨の晴れ間の空の青がまぶしくなり、由比ヶ浜の彼方にせり出す雲は若者が肩を張ったような積乱雲にかかる。

◆注意

(1) 自分の段級に合った課題を選択。
 (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
 (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。
 (4) ①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新会員は無料・会員外は四〇〇円添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。(返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと。)

- | | |
|---------|-----------|
| 課題1 | 路川千暉先生 |
| 課題2 | 〒二〇七一〇〇一三 |
| 課題1 | 六〇〇円 |
| 課題2 | 三〇〇円 |
| 東大和市向原 | |
| 五ノ一九一ノ四 | |

課題2 (初段格以下)

だるま市で買った苗木のちいさいのが、冬を二度越して、やっと葉が茂りかけている。

「休みのあくる日」庄野潤三